

赤字の部分を記入、または該当するものに○をつけてください。
入力の際は書式等を変更しないようご注意ください。

見 本

第 号

市の職員が記入します➡

年 月 日

東京都教育委員会教育長 様

事業主 { 〒189-0000 認め印可
(=工事主体者) { 住所 東村山市本町1-2-3 印
氏名等 東村山 太郎

※事業主が会社・団体等の場合は、上記の氏名等には会社・団体等の名称、
代表者の役職名、代表者名の記入と、代表者の押印をお願いいたします。

埋蔵文化財発掘の〔届出〕〔通知〕について

…事業主が民間の場合 ○ …事業主が公共の場合

周知の埋蔵文化財包蔵地において土木工事等のための発掘を実施したいので、文化財保護法（昭和25年法律第214号）〔第93条第1項〕〔第94条第1項〕同第184条第1項及び文化財保護法施行令（昭和50年政令第267号）第5条〔第1項〕〔第2項〕の規定により、下記の事項について、関係書類を添付し、別記のとおり〔届出〕〔通知〕します。

記

- 1 土木工事等をしようとする土地の所在及び地番
- 2 土木工事等をしようとする土地の面積
- 3 土木工事等をしようとする土地の所有者の氏名又は名称及び住所
- 4 土木工事等をしようとする土地に係る遺跡の種類、員数及び名称並びに現状
- 5 当該土木工事等の目的、計画及び方法の概要
- 6 当該土木工事等の主体となる者（当該土木工事等が請負契約等によりなされるときは、契約の両当事者）の氏名及び住所（法人その他の団体の場合は、その名称及び代表者の氏名並びに事務所の所在地）
- 7 当該土木工事等の施行担当責任者の氏名及び住所
- 8 当該土木工事等の着手の予定時期
- 9 当該土木工事等の終了の予定時期
- 10 その他参考となるべき事項

【添付書類】 下記の書類もご用意ください。

土木工事等をしようとする土地及びその付近の地図並びに当該土木工事等の概要を示す書類及び図面

・計画地の案内図

・配置図

・平面図

・断面図

・土地所有者の承諾書

住宅建築等の場合：基礎の深さのわかるもの
宅地造成の場合：切り盛りの高さのわかるもの

別紙の「承諾書」に土地所有者の住所、氏名等を記入し押印の上ご提出ください。
事業主＝土地所有者：東村山市宛のみ提出
土地所有者≠事業主：東京都宛、東村山市宛どちらも提出

赤字の部分を記入、または該当するものに○をつけてください。
入力の際は書式等を変更しないようご注意ください。

見 本

別 記

法第 93 条第 1 項・法第 94 条第 1 項

(○で囲むこと)

1 所在地	東村山市本町 1-2-3 {土木工事等の所在地を記入してください。		
2 面積	m ²		
3 土地所有者	住所：東村山市本町 1-2-3 ※別紙の「承諾書」はこの欄の方に 氏名等：東村山 太郎 書いていただく書類です。		
4 遺跡の種類	散布地（包蔵地） 集落跡 貝塚 都城跡 官衙跡 城館跡 社寺跡 古墳 横穴墓 その他の墓 生産遺跡 屋敷 その他の遺跡（ ）		
遺跡の名称	（遺跡番号）		員数
遺跡の現状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他（ ）		
遺跡の時代	旧石器 縄文 弥生 古墳 奈良 平安 中世 近世 その他（ ）		
5 工事の目的 ※	道路 鉄道 空港 河川 港湾 ダム 学校建設 集合住宅 個人住宅 分譲住宅 工場 店舗 個人住宅兼工場又は店舗 その他建物（ ） 宅地造成 土地区画整理 公園造成 ゴルフ場 観光開発 ガス・水道・電気等 農業基盤整備事業（農道等含む） その他農業関連事業 土砂採取 その他開発（ ）		
6 工事主体者 (=事業主)	住所：東村山市本町 1-2-3 {こちらは必ず表面の事業主と同じ住所、 氏名等：東村山 太郎 氏名等をご記入ください。		
7 施行責任者	住所：東村山市諏訪町 1-6-3 {未定の場合は『未定』とご記入ください。 氏名等：ふるさと歴史館建設株式会社		
8 着手予定時期	令和 2 年 1 月 1 日	9 終了予定時期	令和 2 年 5 月 5 日
10 参考事項			
指 導 事 項	発掘調査 立会調査 慎重工事 試掘・確認調査 その他（ ）		

該当するものを選び○をつけてください。

〔注意事項〕 ①太線は届出者が記入。 ②指導事項欄は都教育委員会で記入。

③遺跡の種類・現状・時代及び工事の目的欄は、該当項目を○で囲み、該当項目のない場合は（ ）内に記入。

※ 5 工事の目的の記入について

マンション・アパート等は集合住宅、分譲住宅や建売住宅は分譲住宅、事業主が本人または親族の居住のための建築工事を行う場合は、個人住宅を○で囲んでください。

工事の予定